

レジメンcode:	C16-29	備考
適応がん種:	胃癌	
レジメン名:	Trastuzumab Deruxtecan療法	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	エンハーツ	6.4	mg/kg	点滴[*1]	d1

day1【ケモセーフ使用】

1) パロノセトロン	0.75mg	1	V	
デキサート	6.6mg	1	V	
デキサート	3.3mg	1	A	
生食	50ml	1	本	
	主管①	点滴	15	分
2) ブドウ糖液5%	50ml	1	本	
	主管②	点滴	15	分
3) エンハーツ		6.4	mg/kg	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1	本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	1	本	1Vあたり注射用水5mlで溶解
				点滴バッグを遮光し、4時間以内に投与すること
	主管③	点滴	90分	[*1]2回目以降は30分まで短縮可能
4) ブドウ糖液5%	50ml	1	本	
				フラッシュ

〈所要時間 約1時間30分〉

〈初回 約2時間30分〉

*効能又は効果: がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌(トラスツズマブを含む化学療法による治療歴があり、三次治療以降)。

*投与開始前に胸部CT検査、胸部X線検査、動脈血酸素飽和度(SpO₂)検査、心機能検査を行う。定期的な検査を実施する。

*本剤(エンハーツ)と生理食塩液との混合は避けること。

*点滴バッグを遮光し、4時間以内に投与終了すること(冷所2~8℃で24時間まで可能)。

*インラインフィルター使用必須。

*減量・中止する場合の投与量

減量レベル	投与量
通常投与量	6.4mg/kg
一次減量	5.4mg/kg
二次減量	4.4mg/kg
中止	4.4mg/kgで忍容性が得られない場合、投与を中止する。

副作用	程度 ^{注)}	処置
間質性肺疾患		投与を中止する。
左室駆出率 (LVEF) 低下	40% ≤ LVEF ≤ 45% ベースラインからの絶対値の低下 < 10% ベースラインからの絶対値の低下 ≥ 10%かつ ≤ 20% LVEF < 40%又はベースラインからの絶対値の低下 > 20%	休薬を考慮する。3週間以内に再測定を行い、LVEFを確認する。 休薬し、3週間以内に再測定を行い、LVEFのベースラインからの絶対値の低下 < 10%に回復しない場合は、投与を中止する。 休薬し、3週間以内に再測定を行い、再度LVEF < 40%又はベースラインからの絶対値の低下 > 20%が認められた場合は、投与を中止する。
症候性うつ血性心不全		投与を中止する。
QT間隔延長	Grade 3の場合 Grade 4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬し、回復後、1用量レベル減量して投与再開する。 投与を中止する。
Infusion reaction	Grade 1の場合 Grade 2の場合 Grade 3又は4の場合	投与速度を50%減速する。他の症状が出現しない場合は、次回以降は元の速度で投与する。 Grade 1以下に回復するまで投与を中断する。再開する場合は投与速度を50%減速する。次回以降も減速した速度で投与する。 投与を中止する。
好中球数減少	Grade 3の場合 Grade 4の場合	Grade 2以下に回復するまで休薬し、回復後、1用量レベル減量又は同一用量で投与再開する。 Grade 2以下に回復するまで休薬し、回復後、1用量レベル減量して投与再開する。

発熱性好中球減少症		回復するまで休薬し、回復後、1用量レベル減量して投与再開する。
貧血	Grade 3の場合	Grade 2以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量で投与再開する。
	Grade 4の場合	Grade 2以下に回復するまで休薬し、回復後、1用量レベル減量して投与再開する。
血小板数減少	Grade 3の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 7日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。 7日を過ぎてから回復した場合は、1用量レベル減量して投与再開する。
	Grade 4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬し、回復後、1用量レベル減量して投与再開する。

副作用	程度 ^{注)}	処置
総ビリルビン増加	Grade 2の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 7日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。 7日を過ぎてから回復した場合は、1用量レベル減量して投与再開する。
	Grade 3の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 7日以内に回復した場合は、1用量レベル減量して投与再開する。 7日を過ぎてから回復した場合は、投与を中止する。
	Grade 4の場合	投与を中止する。
下痢又は大腸炎	Grade 3の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 3日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。 3日を過ぎてから回復した場合は、1用量レベル減量して投与再開する。
	Grade 4の場合	投与を中止する。
上記以外の副作用	Grade 3の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 7日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。 7日を過ぎてから回復した場合は、1用量レベル減量して投与再開する。
	Grade 4の場合	投与を中止する。

注) GradeはNCI-CTCAE ver.4.03に準じる。